

茶入の魅力

滴翠
美術館
春季展

— 古の美を今に繋ぐ —



2025. 3.4 tue
- 6.8 sun

本展覧会を通して、茶入が持つ歴史的背景や芸術的価値に古の美を感じていただき、今もなお時代を超えて茶人を魅了し続ける、その魅力が伝われば幸いです。

茶入とは、茶道における欠かせない道具であり、茶を点てるための抹茶を収める器です。しかし、その役割を超え、茶入は単なる道具にとどまらず、文化と精神が宿る芸術的な存在でもあります。中国産の唐物から始まり、やがて瀬戸地方を中心とした国産茶入が主流となり、京都などでも焼かれるようになります。

本春季展では、滴翠翁が熱心に蒐集した60点を超える茶入コレクションの中から、室町、江戸時代にかけて作られた作品を中心に紹介。また、京焼の大成者である仁清の手による茶入も展示し、時代ごとの変遷をたどります。

EVENT

第2回 かるた大会

11:00-12:00 競技かるた会
3.22 sat. 12:00-13:00 お呈茶
13:00-14:00 一般かるた会

参加料：2,000円（入館料込）
参加特典：オリジナルクリアファイル
事前予約要（滴翠美術館 0797-22-2228）
協力：京都西行庵花輪竹峰、堀尾宗苗、京都菓子司老松

古渡更紗と名物裂のお話 ～美術館でのアフタヌーンティータイム

5.25 sun 14:00-
講師：鈴木時代裂研究所 所長 鈴木一弘氏
主催：一般社団法人 WANOBi
お問合せ：お申込：(社) WANOBi 和の美神戸事務局
TEL: 090-6906-7535 (平日 9:00~17:00)
Email: kobe.jimu@japan-artisans.com

初夏の呈茶席

5.31 sat. 11:00- / 11:45- / 13:00- / 13:45- / 14:30-
各席 30分ほど
会費：2,500円（入館料込）
事前予約要（滴翠美術館 0797-22-2228）
協力：堀尾宗苗、濱本宗壽、大石宗啓、京都菓子司老松

滴翠美術館

TEKISUI MUSEUM OF ART

- 開館時間 | 10:00 ~ 16:00 (開館は 15:30 まで) 月曜休館
- 入館料 | 一般 700 円 / 高大生 500 円 / 中学生以下無料
※団体割引 15 名様以上 2 割引き、その他各種割引あり
- アクセス | [電車] 阪急芦屋川駅より北西へ徒歩約 8 分、
JR 芦屋駅より徒歩約 15 分、阪神芦屋駅より徒歩約 25 分
[お車] 阪神高速道路芦屋出口より約 10 分
- お問合せ | 〒659-0082 兵庫県芦屋市山芦屋町 13-3 [TEL] 0797-22-2228
- HP | <http://tekisui-museum.biz-web.jp/>